

第6回日メコン外相会議議長声明

平成25年6月30日

1. 第6回日メコン外相会議は、2013年6月30日にブルネイのバンダル・スリ・ブガワンにおいて第46回ASEAN閣僚会議に続いて開催された。同会議では、日本国の岸田文雄外務大臣が議長を務め、カンボジア王国のハオ・ナムホン副首相兼外務国際協力大臣、ラオス人民共和国のアルンケオ・キティクーン外務副大臣、ミャンマー連邦共和国のワナ・マウン・ルイン外務大臣、タイ王国のスラポン・トーウィチャックチャイグン副首相兼外務大臣、ベトナム社会主義共和国のファム・ビン・ミン外務大臣が出席した。

2. 外相は、2015年のASEAN共同体の構築に向けてASEAN域内の連結性の強化、及び格差是正のため、メコン地域開発が重要であることを改めて確認した。また、外相は、変容するアジア地域の課題についても意見交換しつつ、日メコン間で協力を強化していくことを確認した。

3. 外相は、昨年4月の第4回日本・メコン地域諸国首脳会議において採択された2015年までの日メコン協力の指針である「東京戦略2012」及び昨年7月の第5回日メコン外相会議で採択された「東京戦略2012の実現のための行動計画」に基づく日メコン間の協力をレビューし、2015年に向けて日メコン協力をさらに強化するとの決意を再確認した。外相は、8月の日メコン経済大臣会合においても「行動計画」の関連部分をレビューし、結果を日本・メコン地域諸国首脳会議に報告するよう、経済閣僚に要請した。加えて、外相は、2015年後も見据えた中長期のメコン地域の経済発展戦略の必要性について指摘した。

4. 外相は、2013年2月19日に東京にて開催された第3回日メコン官民協力・連携促進フォーラムの成果を歓迎し、同フォーラムで採択された議長総括を確認した。また、外相は、第4回日メコン官民連携・協力促進フォーラムを東京で開催することを確認した。

5. 外相は、日本及びタイが2013年にバンコクにおいて、共通の懸念である環境問題を議題として含む第2回グリーン・メコン・フォーラムを共催することに謝意を表した。メコン諸国の外相は、環境課題に取り組むための予防措置についての経験を共有するため日本を招待した。

6. 外相は、本年12月東京における第5回日本・メコン地域諸国首脳会議の開催について日本が確認したことに謝意を表した。また、外相は、日メコン間の人的交流促進、メコン地域における投資促進等の経済関係の強化についての議論を行ない、第5回日本・メコン地域諸国首脳会議において新たなイニシアティブを打ち出すため、各国の高級実務者に対しイニシアティブの具体的内容を検討するよう指示した。

7. 外相は、日本へのメコン各国からの観光客が増加していること及びタイとカンボジアが共通査証（ACMECSシングルビザ）の発給を決定したことを歓迎した。この点で、日本及びメコン各国間の人的交流促進のために査証発給の緩和のため一層努力していくことで一致した。

8. 岸田外務大臣は、本年3月にビエンチャンで行われた第6回CLMV首脳会議及び第7回CLV首脳会議において、日本の援助に感謝する旨言及があったことに、謝意を表した。

9. 外相は、2014年、第47回ASEAN閣僚会議に続いて第7回日メコン外相会議をミャンマーにて開催することを期待した。